

『新座稲門会便り』(No.14)  
 新座稲門会会報(2021年11月)  
 編集発行:新座稲門会幹事会

第56回早稲田大学ホームカミングデー  
 「2021 稲門祭」報告

10月24日(日)、第56回早稲田大学ホームカミングデー・2021 稲門祭が開催(オンライン)され、私(細川)は招待該当年次[5年毎]ということで、午前中の「ホームカミングデー[10月新規オープンの早稲田大学国際文学館(通称:村上春樹ライブラリー)からオンライン中継]」に参加しました。以下簡単にご報告します。



毎年この時期(創立記念10/21前後の日曜)には、該当年次の校友が大学に招待されて青春時代の早稲田の思い出に浸る「ホームカミングデー」、引続いて同日、校友会最大のイベントである「稲門祭」が開催されています。校友がワセダ一色になって楽しめる祭典の日です。今年2021年度の「ホームカミングデー」・「稲門祭」は、新型コロナウイルス感染症の状況などを踏まえて、大学・校友会ともに創立以来初のオンライン開催となり、世界中・全国津々浦々どこからでも、そして誰でも参加可能な「YouTube」によってライブ配信されました。

今年のテーマは、「MARCHING TIMELY 早稲田から世界へ」で、早稲田の「しなやかな感性」、「たくましい知性」をもって、「正解のない問題」に挑戦してゆくとしています。

「ホームカミングデー(オンライン)」は、田中愛治総長、校友会の萬代晃代表幹事のご挨拶、そして田中愛治総長の講演、最後に校歌斉唱(応援部)という構成でした。

総長からはまず、コロナ禍において早稲田大学が停滞せずどう進んでいるのか、一人も取り残さない覚悟で臨んだ学生支援などについて語られ、それを支えた校友による協力(寄付等)に対しての御礼が述べられました。

また、今年2021年は、偏差値や人気、各方面からの評価などで慶応を逆転、名実共に私学の雄の地位を奪還した。これは喜ぶべきことではあり、慶応とはこれからもお互いに切磋琢磨してゆくことになろうが、早稲田大学のフィールドは世界であり、こんな位置に甘んじている訳にはいかない・・・など熱く語られました。

さらに東大が国私交流のパートナーとして早稲田大学を選び、連携・協力(共同研究、人材養成、人材交流、研究施設・設備の相互利用等)の推進に関する包括協定を調印したというお話もありました。詳しくは下記記載のWebサイトをご覧ください。

[稲門祭 | 早稲田大学 校友会 \(wasedaalumni.jp\)](http://wasedaalumni.jp)

尚、続く「稲門祭(オンライン)」の方では、「稲門音連 特別企画 Jazz & Classic Live in WASEDA」、「フォーラム81 大いに語ろう! 早稲田 DE 教育 早稲田 DE 環境」、「早稲田×医療×デジタルによる新型コロナ対策と社会・経済活動の両立へのチャレンジ」など、幅広い分野で活躍する校友や現役早大生が参加するプログラムが用意されていました。

※当日の「YouTube」アーカイブは11月30日まで公開されているようなので、是非、〈ホームカミングデーWebサイト〉、または〈稲門祭Webサイト〉よりご視聴ください。

[2021年度 早稲田大学ホームカミングデー・稲門祭 - YouTube](http://wasedaalumni.jp)

※「ホームカミングデー」はリアルに直面して旧交を温めるといのが本来の楽しみ。よって、今年の該当年次の校友は来年のリアル版の「ホームカミングデー」にも招待していただけるようです。良かった。

【細川太嘉司】

# ☆オペラ「人道の桜」再演のご案内 ☆

◆2021・12・24 橋本にて◆



去る8月13日の平塚講演に続き、12月24日、神奈川県相模原市橋本で、「杉原千畝物語オペラ『人道の桜』」が上演されます。新座稲門会でも2018年10月27日に、主演の新南田ゆりさんや、杉原千畝の孫である杉原まどかさんらをお迎えして文化講演会を開催しました。稲門の大先輩にあたる杉原千畝の人生を、素敵な歌声と演技でご堪能ください。(伊藤雅夫)

【日時】 令和3年12月24日(金)  
 〈昼〉 13:00開演(12:45開場)  
 〈夜〉 17:00開演(16:45開場)  
 【会場】 「杜のホールはしもと」大ホール  
 \*京王線・JR線橋本駅前  
 mew(ミウイ)7階(<http://www.mewe.jp>)  
 【チケット代】 4800円(全席指定)  
 【問合せ・申込】  
[chiuneopera@gmail.com](mailto:chiuneopera@gmail.com)  
 090-7178-6380(橋本昌一)

# ☆第11回「森の音楽会」のご案内☆

～11/14(日) 13:00「野火止野鳥の森」にて～

これまで過去10回にわたり開催してきた「北野三丁目憩いの森」が地権者に返還されるため、会場が「野火止野鳥の森」に変わります。平林寺の広大な境内林に沿って流れる野火止用水沿いにあり、「森の音楽会」の名にふさわしい会場です。埼玉県民の日、晩秋の紅葉が見頃を迎える平林寺散策のついでに、ぜひお出かけください。スタッフ一同心よりお待ちしております。

【日時】 令和3年11月14日(日)

13:00～15:00

【会場】 「野火止野鳥の森」

新座市野火止3-1

\*雨天の際は、14:00から会場の隣「西分集会所」で開催します。

- ・野火止3-5-15
- ・電話048-479-4457

【問合せ】 小見野(コミノ)

- ・080-6622-1359
- ・skkohyoi88gmail.com



# ◆◇◆活動報告◆◇◆

～HUG ネット主催事業の活動参加～

十文字女子大学が運営するHUG ネット主催事業に、新座稲門会から6名が参加し、野火止用水周辺の剪定作業やゴミ収集作業に取り組みました。

昨年度からの新型コロナウイルス感染症の拡大により、ほとんどの対面による活動が中止となっていた中、久々の対面による活動が展開できました。

先日、NHK テレビ「日本人のお名前」では、古舘伊知郎と長嶋一茂が、「新座」「野火止」の地名の由来について語る場面もあり、野火止用水が全国的に知れ渡る機会となりました。

新座稲門会でも引き続き地域貢献活動の一つとして参加していきます。次回は、ぜひお誘い合わせの上ご参加ください。

